

# 総合計画をめぐって 議論白熱!!



にぎわいのまちづくり

6月定例議会は、6月13日に開会し22日に閉会しました。大山町総合計画(基本構想)及び平成18年度一般会計補正予算・条例制定と議員提案による国への意見書など21議案を審議し、全て原案どおり可決しました。

一般質問では12人の議員が、蓮浄院整備・幼児教育・財産管理など、20項目にわたり町当局の考えをたきました。

## 大山町総合計画(基本構想)

まちづくり

問 (西山議員)

総合計画審議会では、まちづくり3法(大規模小売店舗立地法・中心市街地活性化法・改正都市計画法)に関する議論も行ったか。

答 (後藤企画情報課長)

直接は行っていないが、商工会の活性化というところで、審議会に議論いただき、消費動向を把握し、大規模店舗の影響を極力避けようということに議論が集中した。

問 (足立議員)

世代間交流の充実は、教育の面でも、地域づくりの面でも重要と考える。具体的にはどのように進めるか。

答 (後藤企画情報課長)

教育分野・福祉分野、それぞれの施策の中で展開していきたい。

問 (森田議員)

幼児教育充実の面で、母子手帳をもらってから保育園に入るまでの家庭教育について具体性に欠けていないか。

答 (山田普教育長)

4月に幼児教育課を新設し、現在、保育所や幼児を持つ保護者の意見をくみ上げ、課題を分析している段階。

これを踏まえ幼児教育計画を策定していくので、その中で具体化していきたい。

問 (岡田議員)

子育て支援策が充分とは言えない。さらに充実すべきでは。

答 (山口隆之町長)

細部については、その都度、住民ニーズにあった支援策を立てていく。



はやく、大きくなあれ (所子保育所)